



目 非常にはっきりとわからない  
[mé] Obviously, no one can make heads nor tails

会 期 2019年11月2日(土)―12月28日(土)  
休 室 日 11月5日(火)、11日(月)、18日(月)、25日(月)、12月2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月) [11月5日、12月2日は全館休館]  
開館時間 10:00―18:00(金・土曜日は20:00まで) ※ 入場受付は閉館の30分前まで  
観 覧 料 一般 1200円(960円) 大学生 700円(560円) 小・中学生、高校生無料  
※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料  
※( )内は前売り・団体20名以上、市内在住65歳以上の方の料金  
※ナイトミュージアム割引:金・土曜日の19時以降は大学生無料/一般600円  
☆会期中、ご本人は何度でも展覧会へ入場できます(ナイトミュージアム割引、ぐるっとバスを除く)  
※各種割引の併用はできません。

主 催 千葉市美術館

空間を大規模に変容させる表現などで、現実世界の不確かさを人びとの実感に引き寄せる作品を展開し、国内外で大きく注目を集める現代アートチーム「目」の、美術館における初の大規模個展を開催します。

千葉県の地球磁場逆転地層(チバニアン)や、それらの地質学によって示されるように、未だに原因が解明できないような天変地異の連続の上に、私たちの現実という地表の世界は成り立っています。本展では、展示物に加え、鑑賞者の動きや気づきを含む千葉市美術館の施設全体の状況を大型インスタレーション作品として展開し、突き放された現実としての美術館に人々を誘います。様々な状況が集積されてゆく動的な展示空間は、訪れる人々が理解していたはずの意味や本質を剥がしてゆくように、当たり前のもので見過されている現実世界を、新たな感覚で捉え直させる機会となるでしょう。

## 「目 非常にはっきりとわからない」について

### ○最注目現代アートチーム「目」による美術館初個展!

現代アーティストチーム「目」は、越後妻有アートトリエンナーレ 2015 やさいたまトリエンナーレ 2016 など各地の国際芸術祭などで、独創性に満ちた作品を展開し、鑑賞者に驚きを与えてきました。また東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムである Tokyo Tokyo FESTIVAL では、実在する誰かの巨大な顔が東京の空に浮かぶ「まさゆめ」プロジェクトも進行しています。本展「非常にはっきりとわからない」は、彼らによる美術館での初個展となります。

### ○現実への問い

本展覧会は、目が調査に千葉を訪れた際に見たチバニアン(地球磁場逆転地層)から発想のヒントを得たものです。まるでダイアリーのようには地に刻まれている地球上の天変地異の連続である地層。「そんな、自分たちにはどうにもならない途方も無いような視点から、もう一度自分たちを取り巻く現実や千葉市美術館という空間をみてみたい。」通常の展覧会では、内容が公開されていたり、予想することができることが多い中、この展覧会では事前情報が一切ありません。目が仕掛ける、千葉市美術館の空間でしか成立しない作品を、観賞者が身をもって体験することによって、私たちの現実や美術館という空間を捉えなおし、新たな感覚でこの世界を感じとるきっかけになるでしょう。

### ○会期中何度でも入場できるパスポートチケット

千葉市美術館との初めての試みとして、パスポート式のチケットを導入します(招待券や割引対象除く)。後から気になってきたり、もう一度確かめたいと思ったら、何度でも会場に足を運んでください。会期中に開催する様々なイベントもお楽しみに。

## 【目 [mé] プロフィール】



photo: Takahiro Tsushima

果てしなく不確かな現実世界を、私たちの実感に引き寄せようとする作品を展開している。手法やジャンルにはこだわらず、展示空間や観客を含めた状況、導線を重視。創作方法は、現在の中心メンバー（アーティスト荒神明香、ディレクター南川憲二、インストーラー増井宏文）の個々の特徴を活かしたチーム・クリエイションに取り組み、発想、判断、実現における連携の精度や、精神的な創作意識の共有を高める関係を模索しながら活動している。

主な活動に、「たよりない現実この世界の在りか」／資生堂ギャラリー、東京／2014年、憶測の成立／越後妻有トリエンナーレ、新潟／2015年、「Elemental Detection」／さいたまトリエンナーレ／2016年、「repetition window」／Reborn-Art Festival, 石巻／2017年、「景体」／六本木クロッシング、森美術館などがある。第28回タカシマヤ文化基金、VOCA展2019佳作賞受賞。東京藝術大学非常勤講師。

## 展覧会関連イベント

### ■ライブパフォーマンス

【ゲストアーティスト】Jens Paldam

目が作品テーマに合わせて迎えたゲストアーティストによる、即興的なライブパフォーマンスを行います。

11月23日(土・祝) 14:00より/1階さや堂ホールにて/観覧無料(要展覧会チケット)/定員80名程度/出入り自由/立ち見のみ

※参加人数多数の場合は、入場を制限させていただく場合がございます。

### ■クロストーク 導線の行方

【講師】目、星野太(哲学者、金沢美術工芸大学講師)

11月30日(土) 14:00より(13:30開場予定) /11階講堂にて/先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布)/聴講無料(要展覧会チケット)

### ■ワークショップ 景色の視点

【講師】目、藤木裕介(映画監督、本展会場統括)

アーティストと共に展覧会を別の角度から体験し、もうひとつの視点から「非常にはっきりとわからない」を考えます。

12月7日(土) ①13:00~15:00 ②16:00~18:00/定員 各回10名(事前申込)/申込締切 11/22(金)必着/参加無料

### ■クロージングトーク

【出演】目、有瀧隼人(インストーラー)、平塚知仁(インストーラー)、藤木裕介(映画監督、本展会場統括)、川島拓人(編集者)、畑井恵(当館学芸員)

「目 非常にはっきりとわからない」展について、前半では作家から作品への思いについて、後半では、インストーラー、デザイナーなど、様々な立場で制作に関わったクリエイターを迎えて、作品の制作過程について迫ります。

12月28日(土) / 14:00より(13:30開場予定) /11階講堂にて/先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布)/聴講無料(要展覧会チケット)

### ■市民美術講座 「状況」を展示するー現代アートチーム「目」の試み

【講師】畑井恵(当館学芸員)

11月17日(土) 14:00より(13:30開場予定) /11階講堂にて/先着150名/聴講無料

### ■目展イントロ ショートレクチャー

【講師】畑井恵(当館学芸員)

目の作品を見るのが初めての方を対象に、これまでの活動や作品紹介など、展覧会を楽しむヒントをお伝えします。

11月6日(水)、11月20日(水)、12月4日(水)、12月14日(土)、12月18日(水) 各日14:00より30分程度/1階さや堂ホール前にて/聴講無料

## 記者レクチャー

一般公開に先駆けて報道関係の皆様を対象に、記者レクチャーを行います。展覧会の見どころを本展出品作家の目と担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

**11月2日(土) / 14:00より(1時間30分程度) / 1階さや堂ホールにて**

参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

また、展覧会の開催に伴いオープニングレセプションを行います。ぜひご参加ください。

**11月2日(土) / 16:00より / 11階講堂にて**

## 目 非常にはっきりとわからない

### 広報用画像一覧

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介しますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。



1 目「非常にはっきりとわからない」イメージ(作品キャプションなし)  
Photo by Max Pinckers



2 《アクリルガス》 制作:2018年

※以下は過去の作品画像となります。



3 《景体》  
制作:2019年 実施場所:森美術館「六本木クロッシング2019」  
Photo:Takahiro Tsushima



4 《repetitive objects》  
制作:2018年 実施場所:新潟県十日町市魚沼中条駅  
主催:越後妻有トリエンナーレ



5 《repetition window》  
制作:2017年 実施場所:宮城県石巻市被災地エリア  
主催:Reborn-Art Festival



6 《たよらない現実、この世界の在りか》  
制作:2014年 制作場所:東京/資生堂ギャラリー  
撮影:加藤健

「目 非常にはっきりとわからない」  
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- \* 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- \* 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- \* 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- \* 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- \* お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。  
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館  
広報担当 磯野 行  
FAX : 043-221-2316  
E-mail : isono@ccma-net.jp

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>(おおよそで結構です 例：5cm 四方、など)</small> ：

■ 画像データ申込 (ご希望のデータの番号に○をつけてください。)

1. 目「非常にはっきりとわからない」イメージ(作品キャプションなし) Photo by Max Pinckers
2. 《アクリルガス》 制作:2018年
3. 《景体》 制作:2019年 実施場所:森美術館「六本木クロッシング2019」 Photo:Takahiro Tsushima
4. 《repetitive objects》 制作:2018年 実施場所:新潟県十日町市魚沼中条駅 主催:越後妻有トリエンナーレ
5. 《repetition window》 制作:2017年 実施場所:宮城県石巻市被災地エリア 主催:Reborn-Art Festival
6. 《たよりない現実、この世界の在りか》 制作:2014年 制作場所:東京/資生堂ギャラリー 撮影:加藤健

■ プレゼント用招待券申込

(ご希望の場合はチェックをつけてください)

5 組 10 名様分 希望します。

(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。)

チケット送付先

ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8

広報担当：磯野 愛

Tel. 043-221-2311 (代表) / 043-221-2313 (直通)

Fax. 043-221-2316

E-mail. isono@ccma-net.jp

HP. http://www.ccma-net.jp/